

MRI 装置で全身悪性腫瘍スクリーニング

MRI 装置を用いた全身悪性腫瘍検索検査である DWIBS (ドゥイブス) により、がんや炎症の病巣検索、腫瘍の場所や大きさの特定、良悪性の鑑別、転移状況や治療効果判定、再発の診断を行っております。

※ DWIBS

... Diffusion-Weighted whole-body imaging with background body signal Suppression の略

背景の脂肪信号を抑制した全身拡散強調画像により、PET 検査のような悪性腫瘍の分布をみる検査

□ DWIBS 検査の特徴

① 被ばくがない

MRI 検査では放射線を使用しないため、被ばくの心配がありません。

② 注射・食事制限がない

非造影での検査なので血管確保が困難な方にも施行しやすく、インスリンや食事制限もないため糖尿病の方にも適用出来ます。

③ 検査費が安い

PET 検査と比較すると約 1/6 の費用で検査を受けることが出来ます。

④ 経過観察に有効

被ばくがなく、保険や費用の面からも短期間での経過観察に適しています。

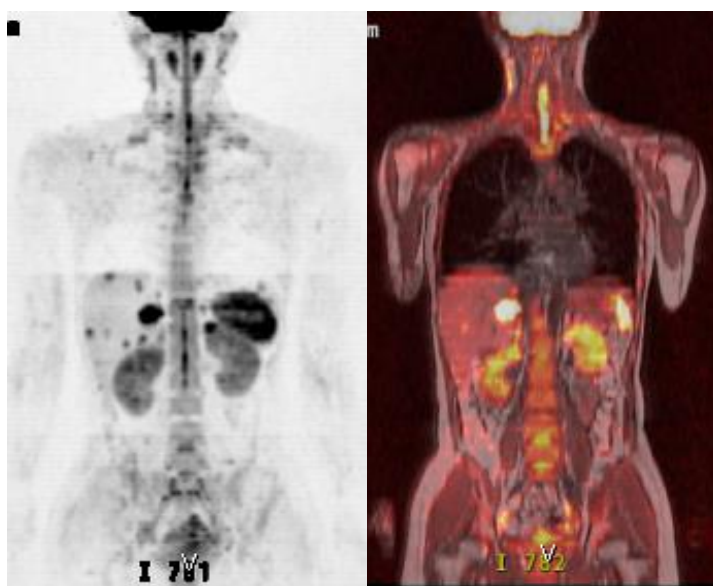
□ 検査の適用

- ・ 臓器への転移 (原発・転移)
- ・ リンパ節転移
- ・ 骨転移

など

DWIBS 画像例

～乳癌の多発肝転移～



DWIBS

MIP画像

DWIBS+T1WI

フュージョン画像